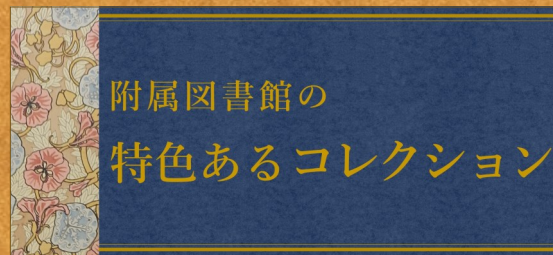


KIT
CollectionWebページ
特色あるコレクション

京都工芸繊維大学附属図書館には、他の図書館には見られない貴重な資料が集まっています。
それを特色あるコレクションとして附属図書館のホームページで公開しています。

大学の前身校と図書館

京都工芸繊維大学は、京都蚕業講習所と京都高等工芸学校を前身とし、京都の伝統工芸と産業の近代化を牽引してきました。
前身校の図書室・図書館と書庫・標本庫には、図書や雑誌のほか、図案、図譜、標本、見本、素材、掛図、巻物など多岐にわたる資料が集められ、教材として活用されてきました。
京都工芸繊維大学の附属図書館には、前身校から引き継がれた貴重な資料が所蔵されており、工芸と繊維というふたつの高等教育機関の流れを汲む本学図書館の特徴となっています。

デザイン関係資料

本学の前身校のひとつである京都高等工芸学校（1902（明治35）年開校）は、京都の伝統産業の近代化をバックアップする目的で設立され、色染科、機織科とならんで図案科が設置されました。図案科では積極的に欧米のデザイン資料を収集し、教育・研究に活用してきました。その後、本学OBや教員など関係者から多くの寄贈も受けており、デザイン関係の資料の一大拠点となっています。

蚕糸関係資料

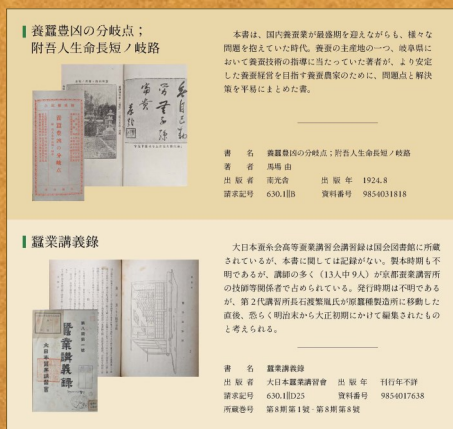
本学の前身校のひとつである京都蚕業講習所（1899（明治32）年開校）は、京都高等蚕業学校、京都高等蚕糸学校、京都繊維専門学校と校名を変えながら、一貫して蚕糸に関わる教育研究を続けてきました。その過程で数多くの蚕糸に関係する書籍、教育資料を収集し、また、さらに多くの関係者から寄贈を受け、国内有数の蚕糸関係書籍等を有するまでになっています。

京都工芸繊維大学附属図書館 特色あるコレクション
URL) <https://www.lib.kit.ac.jp/collection/>



京都の近代化の足跡をあらわす

特色あるコレクション

Web
公開

オリジナルブックスタンド

一冊の本

デザイン・建築学系 多田羅景太助教のオリジナルデザインにより製作され、同窓会より寄贈を受けたブックスタンドです。木製でやわらかいカーブを描いており、先生方の座右の書を紹介する企画展示「一冊の本」などに活用しています。館内動線でふと足を止め、本を手にとる、そんな一冊との出会いを演出するブックスタンドです。